

項目		9月			
I 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項	1	(F)	S	T	観察実習の期間中は、自分で決めていた課題からあたらしく、実習の教育現場に行ってみると、初めてなことは、やはりあるので、とまどってしまう。課題からおろそかになっただけで、本実習では、現場を意識し、明確な目標と課題を設定して臨むつもりです。
	2	F	(S)	T	
	3	(F)	S	T	
	4	(F)	S	T	
	5	(F)	S	T	
	6	(F)	S	T	
	7	F	(S)	T	
II 教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項	8	F	(S)	T	服装や髪型は適切なと思う。マナーに関しては、社会人として当たり前のことではできていると思うが、学生気分をひきかえているところもあるかもしれない。またマナーには、かなり気を遣って、徹底的に取り組んでいるように感じられる。
	9	(F)	S	T	
	10	(F)	S	T	
	11	F	(S)	T	
III 教員として求められる幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項	12	F	(S)	T	児童と話しをしたということができるが、健康状態や性格というところまで、気が回らないので、そういったところにも気を配っていきなさいです。学級経営では、児童がやるべきこと、やるべきことを児童に任せ、指導すべきことは先生に任せようと思います。担任の先生とも相談しながら、たまたま指導すべきことがあると思います。
	13	(F)	S	T	
	14	(F)	S	T	
	15	(F)	S	T	
	16	(F)	S	T	
	17	F	(S)	T	

IV 教員として 求められる教科 等の指導力に関 する事項	18	F	S	T	<p>観察実習からの準備期間中に、教材研究をしましたから、自分が思っていたよりも資料などを見つけるのが、難しく結局指導書に沿うかたろのものが多いです。</p> <p>評価は実際にするとすると難しいと思うので、ほそりとした評価標準をつていっています。</p>
	19	F	S	T	
	20	F	S	T	
		F	S	T	
	21	F	S	T	
IV 教員として 求められる教科 等の指導力に関 する事項	22	F	S	T	<p>話し方などは、基本的なことになるので、実習期間中、常に気を付けてやっていきたいです。また、話を聞くのが、児童などということも忘れなくて、学生に向けて話をする時よりももっと、分かりやすい言葉を使うなど、していきたいです。</p> <p>板書は事前にしっかりと計画をたてておき、自分の中でイメージをもつから、それに沿うようにやっていきたいです。執、落ち着いて丁寧に書くことを心がけます。</p> <p>机間巡視や、指導法ではしっかりと目的を掲げ、何を巡視するのか、どのように指導するのか、という問いを常にもってたいです。</p>
	23	F	S	T	
	24	F	S	T	
	25	F	S	T	
	26	F	S	T	
	27	F	S	T	
	28	F	S	T	
	29	F	S	T	
	30	F	S	T	
	31	F	S	T	
	32	F	S	T	
	33	F	S	T	
	34	F	S	T	